

大銀協 顧客本位の実践セミナー



持続可能なビジネスモデル構築で法人融資の課題を説く森氏（7月3日、大銀協）

【大阪】大阪銀行協会は7月3日、日本動産鑑定・森俊彦会長を招き、「顧客本位の地域金融」持続可能なビジネスモデル構築に向けて」をテーマにセミナーを開催、社員銀行などから約60人が参加した。金融検査マニュアルが廃止されるなかで「銀行法の第一条は、共通価値の創造に資する」と強調。担保・保証に依存しない事業性評価融資となる「専当座貸越」を重視する意識改革の必要性を説き、金融仲介機能の実践を促した。

セミナーに先立ち、同協会では、「銀行の日」の趣旨と意義を説明。7月を顧客への感謝を示す月間として社員銀行の活動の一助につながるセミナーなどを開催している。